

日野市観光協会だより

第43号（令和7年3月発行）

特定非営利活動法人 日野市観光協会
<https://www.shinsenhino.com/>



甲州街道日野宿西端の禅寺

如意山 宝泉寺

当山は、中央線日野駅前に構える臨済宗建長寺派の禅寺で、鎌倉の建長寺を本山とします。御本尊は釈迦如来、両脇侍に文殊菩薩と普賢菩薩が鎮座しております。開創は元徳元年(1329年)で、京都嵐山の大本山天龍寺開山夢窓国師を勧請開山とし、その弟子の大本山建長寺五十九世曇芳周應禅師を開山に招き創建しました。

創建当初は姥久保の地(当地より西へ約500m)にあり、塔頭寺院二ヶ寺を有しておりました。滝山合戦による北条家所縁の寺院として焼き討ちに遭い現在の地に再建されました。先年北条家より朱印状を発給されましたが、天正年間(1573年～1592年)に於いて再び火災に遭い、御朱印、過去帳、古記、伽藍を焼失しました。慶安二年(1649年)徳川三代将軍家光公より十四代将軍家茂公に至るまで、石高八石、寺中山林竹木諸役免除の朱印状を授かりました。その間、焼き討ち等災難に

遭う度伽藍を再建復興し檀信徒と共に護持してまいりました。

当山には大切に守り続けている「持ち上げ観音」と呼ばれる一尺二寸ほどの石造の馬頭観音像があります。この観音様は持ち上げる重さによって願ひ事が吉か凶かを告げてくれる魔訶不思議な石仏として伝えられております。天明8年(1788年)夏の晩、観音様を背負った旅僧が当山に投宿した際、床に張り付くように重く持ち上がらない観音様に、ここへ置いていくよう告げられたという逸話です。

また当山には、正徳四年(1714年)徳川七代将軍家継公の時代に、1500人も罰せられた「江島生島事件」に関与した代官「金丸四郎兵衛」の墓地があります。当山の唐の芋(里芋)畑で自害した為に侍の祟りを恐れ、里芋を作らない又は食べない人がいるという所以で、日野市七不思議の一つとされています。

他にも江戸幕府庇護組織「新選組」の中心となる多摩四人衆の一人、副長助勤六番隊組長「井上源三郎」の墓地もあり、季節問わず全国より新選組ファンが訪れています。

第16回 たかはたもみじ灯路

11月22日(金)
23日(祝)

2日間にわたり天候にも恵まれた暖かい日となり、SNSなどでの情報発信の効果もあって市外の方や若い方なども増え、大勢のご来場をいただきました。

1日目の開会式、来賓全員による「点灯式」に続き、不動堂前で行った「灯ろうコンサート」では市内中学校合唱部の歌声が披露され、来場者を魅了しました。また高幡不動尊の萬燈会と門前通りに灯された2700個の灯籠と夢灯り(切り絵灯籠)が、来場者だけでなく関係スタッフの心を癒してくれました。

今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

来場者：約3万人

(たかはたもみじ灯路実行委員長 土方 淳)



高幡不動尊節分会

2月2日(日)



今年の節分会は2日の日曜日に開催されました。

幸運や幸福が訪れることを願いながら、福袋を準備し販売しました。

当日は雨の影響もあり参拝者の出足は遅く福袋の売れ行きが心配でしたが、午後には雨も上がり、豆撒き式は13時、15時と回を増すごとに境内は賑わいました。藤田朋子、風間トオル、つのだ☆ひろ、寺泉憲、会員でもある岩崎愛子さんなどの「福は内」の掛け声とともに大きな福を呼び込みました。

無事に500個の福袋も完売できました。

袋詰め、豆煎式、販売とご協力をいただきました会員の皆様にお礼申し上げます。
(事業部 藤本左智子)

日野宿本陣 お雛様を愛でる会

2月18日(火)～
3月9日(日)

江戸時代に建てられ都内に唯一残る本陣建物「日野宿本陣」。新選組副長・土方歳三の義兄 佐藤彦五郎が本陣兼自宅として使用していたこの趣のある重厚な建物が、年に一度、赤やピンクといった鮮やかな色で彩られます。

「お雛様を愛でる会」として開催されるこの行事では、日本の伝統文化である「ひなまつり」の室礼や明治・大正・昭和初期の雛人形、「つるし雛」などが飾られます。今年もその時代ごとの美しさに、訪れた方はしばし見とれ、自然と笑顔になっていました。また入口の土間にある大きなつるし



雛は、さながら非日常への入り口そのものでした。

(事務局)

第58回 伸びゆく日野市写真コンクール

応募期間 令和6年12月10日(火)～令和7年1月12日(日)

58回目となる本年は、昨年より4名増え88名の方から合計512点の応募がありました。特筆すべきはデータによる応募が5年目にして初めて紙による応募を上回った点です。

審査は2月6日(木)に実施され、審査長からは、応募者が増えたこと、日野市内で活躍する人々の生き生きとした表情や、四季折々の作品が増えたことに特に評価をいただきました。推薦や特選等10点、ご協賛いただいた企業等による特別賞15点、合計25点の受賞作品を決定し、2月26日(水)に行われた表彰式では、受賞された方々から応募作品への想いを語っていただきました。また入賞作品は、3月12日から3月24日まで市役所1階ロビーにて展示され、多くの皆様が足を止めて鑑賞されていました。改めて日野市の魅力を感じていただけたと思います。

2年後には60回目の節目を迎えますが、今後も日野市の魅力を伝えられるよう続けて参ります。

写真コンクールの審査、表彰式を含め、ご協力いただきました皆様に改めまして御礼申し上げます。

(事業部長 亀山孝一)



推薦(日野市長賞)

「中央公園、お花見日和り」

設楽誠一さん



特選(日野市議会議長賞)

「春の散歩」

橋本昌利さん

日野市観光協会理事長賞
入賞取消のため該当なし

日野市さくらの開花宣言標本木



毎年、梅のつぼみがほころび始めると、巷では季節の先取り、「桜の開花予想」が話題になります。

日野市観光協会では、高幡不動尊の事務所前にある「日野市桜の開花宣言標本木」に5輪花が咲くと、開花宣言を行います。この標本木、古木故か一般的なソメイヨシノに見られる華やかさとは一線を画し、奥ゆかしさや趣がある気がします。お向かいにある桜の開花が少し早い時もありますが、そこはご愛敬。末永く、訪れる人々を和ませて欲しいです。

写真左が「さくらの標本木」

(広報部 担当)

これからの行事予定

- 5月10日(土)・11日(日) 第28回ひの新選組まつり
6月10日(火) 日野市観光協会定期総会
6月1日(日)～30日(月) 高幡不動尊あじさいまつり

日野市観光協会の歩み 1958年(昭和33年)、日野町・七生村が合併し都立多摩動物公園が開園した年に日野観光協会として発足しました。1987年(昭和62年)日野観光協会から日野市観光協会へと名称を変更し、2006年(平成18年)3月28日に「特定非営利活動法人」の認可を受けました。その間、「菊まつり」「新選組まつり」をはじめ多くの事業を実施し2005年(平成17年)には事務局を「日野宿本陣」の敷地内に移転しました。

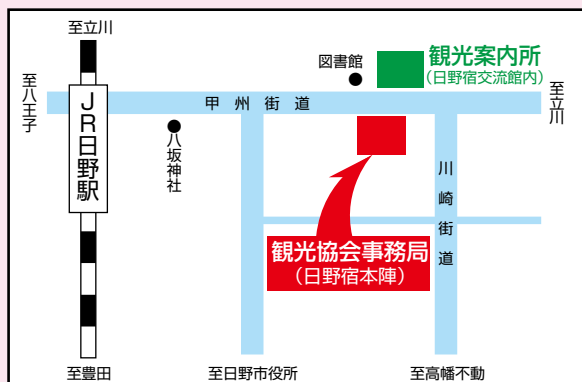
バナー広告主募集

現在、日野市観光協会ではバナー広告主を募集しております。ぜひご検討ください。

(フッタ上部月額 会員 2,500円 一般 5,000円)

特定非営利活動法人 **日野市観光協会 事務局**

9:00AM～5:00PM 月曜休(祝日の場合は翌平日)
〒191-0011 東京都日野市日野本町 2-15-9
TEL(042)586-8808 FAX(042)586-8961
E-mail info@shinsenhino.com



会員募集

特定非営利活動法人日野市観光協会では会員を募集しています。日野市の観光や新選組、その他イベント等に興味のある方の入会をお待ちしています。詳しくは事務局までお問い合わせください。

編集後記

昨年より観光協会に参加させていただいております。この編集に参加させていただき「家光ゆかり」「里芋を食べない習慣」「桜の開花宣言標本木」など今まで知らなかった「故郷日野」の魅力に触れております。これからも「普段では知り得ないまちの魅力」をお伝え出来るように参加して参ります。(S)